

住蓮寺池（じゅうれんじいけ）

位置図



諸元

貯水量	491.3	千m ³
満水面積	12.8	ha
受益面積	115	ha
堤高	9.9	m
堤長	412	m

住蓮寺池の詳しい築造年は定かではありませんが、改修記念碑によると400年以上前の創築であったと記されています。また、名前の由来にはいわれがあり、造られる際に、池床に「重蓮寺」という寺があり、この池を築く際に寺を移転したという事から、「住蓮寺」という名前がついたと言われています。

本池の改修履歴としては、昭和36年度から昭和37年度にかけて全面的な法面整形及び新たな余水吐の設置を行い、昭和58年度から平成2年度にかけて県営大規模ため池等整備事業でため池の全面改修を行いました。

本池の水源は、直接流域が約1 km²と小さいため、間接流域から三郎池への導水路を利用して水を確保していましたが、満水するための苦労は相当なものでした。そのため、昭和50年に香川用水から取水した意義は本池にとっては相当大きなものでした。

また本池の周辺には、西から船岡池・平池・前池・住蓮寺池・三郎池等が東西に並んでおり、それぞれの堤防には花木が植えられており、また、堤防上からは高松市街が一望することが出来るため、休日に訪れて池の周辺を散策するのに最適なスポットとなっています。



住蓮寺池（堤防）